



図書館だより 6月号

〒519-0505 伊勢市小俣町本町2番地 (電話) 0596-29-3900 (FAX) 0596-29-3902

小俣図書館 図書館行事 ご案内

おはなし会 1階・おはなしのへや



6月 9日(土) たんぽぽおはなし会、午後3時～

6月 17日(日) ピッコの会・紙芝居、午前11時～

★図書館おはなし会&工作

〈1階・おはなしのへや〉



《日時》6月 23日(土) 午後3時～

《対象》3歳～小学生(就学前の子どもは保護者同伴)

《内容》おはなしを読んだ後、七夕飾りを作る工作をします。



★「赤ちゃんおはなし会」 1階・おはなしのへや

6月 14日(木) 午前11時～



◆上映会 2階・視聴覚室

6月16日(土) 午後2時～

「ダンポ」

アニメーション《64分》



※おはなし会、上映会の事前申込みは不要です。

☆☆七夕コーナー☆☆

6月23日(土)～7月7日(土)

七夕飾りを設置します。

短冊に願い事を書いてみませんか。

おりひめ体験 ☆コースター作り☆

日時 7月7日(土) 午後3時～

場所 1階・おはなしのへや

対象 小学生(低学年は保護者同伴)

定員 5人(抽選)

申込み 6月2日(土)～7日(木)

小俣図書館カウンターへ(電話可)

※抽選は、6月9日(土)午後2時からおはなしのへやで行います。

ダンボールで作った織り機でコースターを作ります!



おしえて!おはなしおばさん!!

～藤田浩子さんに学ぶ、子どもとのふれあい～

手遊びや昔話、小道具を使ったお話の実演と、体験談などのお話。

7月27日(金) 午前9時30分～

(開場 午前9時15分～)

場所 2階・会議室

対象 子どもとのふれあいに
関心のある方(成人対象)

定員 40人(先着順)

申込み 6月9日(土)午前9時～
小俣図書館カウンターへ
(電話可)



開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週火曜日、第2金曜日

年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

小俣図書館カレンダー

6月 7月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				

図書館だより 6月号

(編集・発行) 伊勢市立伊勢図書館 指定管理者/株式会社 図書館流通センター (住所) 〒516-0076 伊勢市八日市場町13-35
(電話) 0596-21-0077 (FAX) 0596-21-0078 (ホームページ) http://iselib.city.ise.mie.jp/

「特別整理期間・休館のお知らせ」

6月4日(月)～13日(水)

上記期間中、蔵書の点検・整理のため休館いたします。みなさまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒、ご理解ご協力下さいますようお願い申し上げます。

6月は蔵書の点検のため、お休みの期間があります。上映会はいつも第2日曜日ですが、今月は第3日曜日に開催します。

皆様よろしくお願いたします!

* おはなし会、あかちゃんえほんのじかん、上映会 は、申込不要です。どうぞお気軽にご参加くださいね!



「おはなし会」

《日時》毎週土曜日 午後2時30分～

《場所》1階・おはなしコーナー

6月2日/おにいさん、おねえさん による おはなし会
6月16日・23日・30日 /おはなしプーさん による おはなし会

えほんのよみきかせ、かみしばいなどをやっています☆



「上映会」

《日時》6月17日(日) 午後1時30分～

《場所》2階・視聴覚室

『はらぺこあおむし』

えほん 絵本の魔術師エリック・カール!
かず 数ある名作の中から
じょうり 5つのおはなしを上映します!

《絵本アニメーション》

《上映時間 33分》



「あかちゃんえほんのじかん」

《日時》6月28日(木) 午前11時～

《場所》2階・視聴覚室

《内容》あかちゃんむけの絵本の紹介や、手あそびなどをします♪

あかちゃんえほんのじかんは、毎月第4木曜日です★

「七夕コーナー」

《日時》6月28日(木)～7月7日(土)

《内容》七夕飾りをします。短冊に願い事を書いてみませんか。



「たなぼたのねがい星」

《日時》7月1日(日) 午後2時～

《場所》2階・視聴覚室

《内容》おはなしを読んだ後、みんなで願いを込めて「ミサンガ」をつくります。

《対象》小学生(就学前の子どもは保護者同伴)

《定員》10名

《申込》6月16日(土)から、直接カウンター・電話・FAXで伊勢図書館へ。



開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週水曜・第2金曜・年末年始・特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

** 伊勢図書館・休館日カレンダー **

6月

7月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				



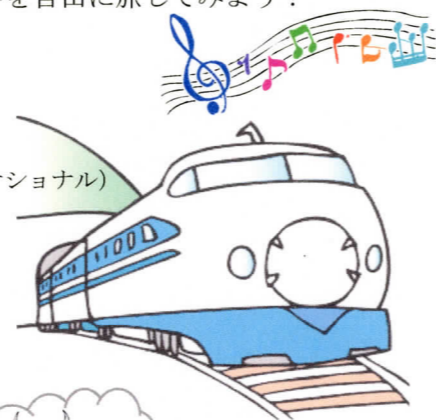
本のごあんない

〔一般書〕 「旅に出よう！」



世界のすてきな本屋さんをめぐる本や青春18きっぷでの列車の旅の本、そして秘境国の絶景を収めた写真集など、いろんな旅の本を紹介。国境を越え、時間を越えて、本の中で世界中を自由に旅してみよう！

- ◎ 世界の夢の本屋さん (エクスマレッジ)
- ◎ 四国八十八カ所歩き遍路のすすめ (淡交社)
- ◎ 秘境国 まだ見たことのない絶景 (アマナイメーجزズ / [ほか] 写真 パイインターナショナル)
- ◎ おとなの青春18きっぷの旅さらに得する達人プラン (おとなの青春18きっぷの旅編集部 / [編] 学研パブリッシング)
- ◎ 「どこへも行かない」旅 (林望 / 著 光文社)



〔児童書〕 みんなが知りたい落語のいろは！

6月5日は、「6」「5」の語呂合わせて落語の日。

日本の話芸のおもしろさが味わえる本を紹介します。ぜひこの機会に、Let's 落語！！

- ★ じごくのどうぶえ 桂米朝・上方落語・地獄八景より (田島征彦 / 作 童心社)
- ★ ときそば (川端誠 / [作] クレヨンハウス)
- ★ ようこそ！おやこ寄席へ 落語で広がる笑いの輪 (桂文我 / 著 東葉奈 / 画 岩崎書店)
- ★ こども古典落語1～5 (小島貞二 / 文 宮本忠夫 / 画 アリス館)
- ★ へんなゆめ 桂米朝・上方落語「天狗さばき」より (たじまゆきひこ / 文と絵 フェリシモ)



〔ヤングアダルト〕 「科学の世界へ飛びこもう」

のちにNASAのエンジニアになった著者が、高校時代にロケットを作りあげるまでの物語など、科学をテーマにした本を紹介。今まで知らなかった科学の世界に触れてみませんか。

〔一般書〕

- 六人の超音波科学者 森ミステリイ凛然たる論理 (森博嗣 / 著 講談社)
- ロケットボーイズ 上・下 (ホーマー・ヒッカム・ジュニア / 著 武者圭子 / 訳 草思社)
- 恋する天才科学者 (内田麻理香 / 著 講談社)

〔児童書〕

- せいめいのれきし 地球上にせいめいがうまれたときからいままでのおはなし (バーニリア・リー・バートン / 文・え いしいもこ / やく 岩波書店)
- 探検するよ、さあ科学の世界へ (クレア・ワッツ / 文 リサ・スワーリング、ラルフ・レイザー / イラスト 伊藤伸子 / 訳 化学同人)



★ 伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。ご利用館にない場合は、予約ができます。

霊峰 朝熊岳。

雨霧の遙か彼方、水墨画の佇まいをみせる。それはさながら侘び寂びの世界…

ふるさとの風
～水無月の候～

極楽浄土

— 朝熊山と金剛證寺

Mount Asama & Kongousho-ji Temple

朝熊山 のぼりて見れば 極楽の 是ぞ誠の 浄土成るらん

—勢陽雜記—

朝熊山は伊勢神宮の北東に位置し、古くから伊勢地方の霊山と崇められ、死者の霊が帰ると信じられてきた。標高555メートル、伊勢・志摩の両国にまたがり、山頂からは神宮の山々や伊勢湾が眼下に広がる。

伊勢神宮の鬼門封じの寺 金剛證寺は、その山上に建つ。

この寺の草創は古く、六世紀半ば欽明天皇の頃、暁台上人によって明星堂が建立されたのが始まりとされ、以降聖武天皇の代に至る200年間には多くの行者が来山し修行をしたといわれている。

御本尊は日本三大虚空蔵菩薩の一つ 福威智満虚空大菩薩で、式年遷宮の翌年に開帳される。

朝熊岳の由来は暁台上人が修法の際、朝に熊、夕に虚空蔵菩薩が現れたところからつけられたという。

天長二年(825)、空海が中興、堂宇が建立され、真言密教の道場として隆盛を極め、勝峰山兜率院金剛證寺と称するようになった。

その後、一時衰退していたが、明德三年(1392)鎌倉建長寺の東岳文昱(仏地禪師)が再興に尽力し、真言宗を臨済宗に改宗し禅宗寺院となり現在に至っている。

～伊勢へ参らば朝熊をかけよ 朝熊かけねば片参り～

室町時代には神仏習合の教えから「伊勢神宮の鬼門を守る寺」として伊勢信仰と結びつき、俗謡にもうたわれたごとく伊勢参宮をすませた人々は朝熊岳に参詣するのが恒例であった。

境内には多くの宝物がみられる。

本堂摩尼殿は桃山様式の朱塗りの堂宇、国指定有形文化財である。

空海が修行中、天照大御神の姿を刻みこんだと伝えられる雨法童子像。

また、経塚群から発見された経筒には神宮の神主の名が刻まれ、仏教が神官たちに受容され広まっていた様子がうかがえる。

芭蕉がこの地を訪れた時に詠んだ歌がある。

神垣や おもいもかけず 涅槃像

極楽門から奥の院へ通じる参道には、

先祖供養の巨大な卒塔婆一万柱が立ち並び、霊場の面影を今に伝えている。

6月の開山忌、境内は霧雨に濡れいっそう鮮やかさを増した紫陽花に埋めつくされる。

空海が掘ったという連間の池は俗界と聖地を分かつ空間。

池にかかる朱色の太鼓橋「連珠橋」を境に、此岸～迷いの世界と彼岸～悟りの世界があらわされているという。

涼気が残る夏の朝、数百株の睡蓮が花開く。

その幻想的な世界は見る者を幽玄の世界にいざなうかのよう…。

まさにこの世の極楽浄土…

神と仏が出会う超俗の風景がここにある。

晴れた日には、朝熊山山頂より遠く

富士山までも見晴るかす絶景が眼前に広がる。

朝熊山開山忌は、寺の再興に尽力のあった仏地禪師の命日に合わせて行われる。

6月27日(水)～6月29日(金)

➡ 朝熊岳概観史 金剛證寺の歩み (川口素道 / 監修 川口素道 L184 / ア)